

平成 28 年度 施策評価シート

基本目標	5 持続可能なまちづくり	
基本施策	4 自治を支える人材育成	
単位施策名称	1 職員の総合的な能力開発	所管部
施策の方向性	●職員が自ら考え、住民に対して説明責任を持って、行政サービスを提供できるよう、職員の人材育成を推進します。 ●人事制度の見直し・充実を図るとともに、職員の適正配置を推進します。 ●長時間労働の抑制や育児休暇等の取得促進に努めるなど、職員の仕事と家庭生活の調和を推進します。	総務部

1. 施策指標

番号	目標指標	単位	区分	計画策定時の状況	H28	H29	H30	H31	中期目標(H32)
1	職員の研修参加者の延べ人数	人	目標値		149	157	165	173	180
			実績値	141	184				
			達成状況		達成				
2			目標値						
			実績値						
			達成状況						
3			目標値						
			実績値						
			達成状況						
4			目標値						
			実績値						
			達成状況						
施策の推進に要した総事業費		千円	総事業費		3,107				
			うち、一般財源額		2,663				
		%	増減率(対前年度、総事業費)						
			増減率(対前年度、一般財源額)						

2. 施策の成果を押し上げる事業(事務事業)

番号	事業名称	事務事業評価指標	単位	区分	計画策定時の状況	H28	H29	H30	H31	目標(H32)
				目標値						
				実績値						
				達成状況						
			千円	事業費						
				うち、一般財源額						
				目標値						
				実績値						
				達成状況						
			千円	事業費						
				うち、一般財源額						
				目標値						
				実績値						
				達成状況						
			千円	事業費						
				うち、一般財源額						
				目標値						
				実績値						
				達成状況						
			千円	事業費						
				うち、一般財源額						
				目標値						
				実績値						
				達成状況						
			千円	事業費						
				うち、一般財源額						
				目標値						
				実績値						
				達成状況						
			千円	事業費						
				うち、一般財源額						
				目標値						
				実績値						
				達成状況						
			千円	事業費						
				うち、一般財源額						
				目標値						
				実績値						
				達成状況						
			千円	事業費						
				うち、一般財源額						

3. 施策の成果を維持する事業(財政計画)

番号		事業名称	単位	区分	H28	H29	H30	H31	H32
1	人事研修事業	千円	事業費	3,107					
			うち、一般財源額	2,663					
2		千円	事業費						
			うち、一般財源額						
3		千円	事業費						
			うち、一般財源額						
4		千円	事業費						
			うち、一般財源額						
5		千円	事業費						
			うち、一般財源額						
6		千円	事業費						
			うち、一般財源額						
7		千円	事業費						
			うち、一般財源額						
8		千円	事業費						
			うち、一般財源額						
9		千円	事業費						
			うち、一般財源額						
10		千円	事業費						
			うち、一般財源額						

4. 評価と対応方針

4.計画と対応方針					
評価分析					
前年度評価を踏まえた見直し状況					
目標と実績の乖離要因					
施策の成果を押し上げる事業（事務事業）の分析					
事業名称	指標 達成状況	事業効果	事業改善	今後の方向性	方向性を踏まえた取り組み方針
新たに発生した課題・環境変化					
職員のさらなるスキルアップが必要です。					
目標と実績の乖離や新たに発生した課題を踏まえた対応方針					
町独自の研修内容の検討をおこない、職員の自学やグループ学習などの取り組みを支援する仕組みを構築します。			●成果を押し上げる事業（事務事業）の概況		
			(高)		
			(効果高める検討を要する事業数)	{ 効果を維持し、かつより効率的な実施の検討を要する事業数 }	
			0	0	
			(低)		
			(抜本的見直しを要する事業数)	(施策推進に必須な事業数)	
			0	0	
			(低)	(高)	
作成担当部長			総務部長 坂本 雅司		

5. 今後の展望

成果を押し上げる事業（事務事業）の今後の展望		
事業名称	今後の方向性	方向性を踏まえた今後の展望
1		
2		
3		
4		
5		
6		
7		
8		
9		
10		
11		
12		
13		
14		
15		

課題等を踏まえた対応方針及び今後の事業の展望を踏まえた施策の方向性

引き続き目標値の達成を目指し、現在の方向性で施策を継続することとします。